

本日は皆様ご多忙のおり、本校 PTA 会長 石川雅章様、静岡市清水区区長 高木強様 はじめ、学園の内外から多くのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、かくも盛大に中等部第 69 回・高等学校第 19 回の入学式を挙行できますこと、高い席からではございますが、心から御礼申し上げます。

さて、中等部 150 名、高等学校 432 名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご入学心よりお祝い申し上げます。

少子化の折、私立・公立とも入学定員を満たさない学校が多い中、本校中等部は昨年度に引き続き、定員を大きく上回る 150 名の入学 5 クラス体制、また、高等学校も募集定員を大きく上回り 432 名の入学、11 クラス体制でのスタートとなりました。本日、中・高合わせて 582 名という静岡翔洋始まって以来の多くの新入生を迎えることができましたのは、「変わる！静岡翔洋」を掲げて本校の新しい教育方針、教育内容を広く訴えてまいりました私達にとって、大変勇気づけられることであり、大きな自信となりました。

同時に本校を選んでくださった多くの静岡県民、県外の皆様の本校に対する期待に応えるべく教職員一同身を引き締めて日々の教育

活動にあたらなければならないと決意を新たにいたしました。

さて、新入生の皆さん私は今、君達をととても羨ましく思っています。それは、私が、私たち大人が失ったもの、今、一番欲しいものを君達が手にしているからです。

それはなんだと思いますか。

時間です。青春という人生の中で一番輝いている時間です。

太陽の光を浴びてキラキラと光る海、私はいつもあの眩しい光景を見るたび青春時代を思い出します。

時間はいつも過ぎていくだけで決して後戻りはしません。それゆえ、どんなときであっても時間は大切な私たちのパートナーです。その時、その時、大切に生きなければもったいないと私は思います。とりわけ今君たちが手にしている青春時代というのは、もっとも変化が激しく、そして可能性に満ちていて、泣いたり笑ったりの喜怒哀楽に満ちた楽しい日々を送れる時代であると思うのです。

勉強や部活動、趣味、友との語り、様々なことへの挑戦などに時間を費やすことが可能です。時には恋もするでしょう。そして、何より、多くの友達、仲間がいます。利害関係のない純粹に友として付き合うことができる仲間がいるというのは貴重なことなのです。

私自身振り返れば、中学・高校のそれぞれ3年間は未熟で幼くはあったけれども、人生で一番輝いていた時、夢見ることが許されていたかけがえのない時間であったと思います。

その時代をその輝いている時間を今君達は手にしています。君達はどう生きていきますか。何をしますか。何を目標にしてどんな夢を持っていますか。

何もしなくても時は過ぎていきます。でも、そんな退屈な変化も成長もない日々を過ごしていいのでしょうか。

もちろんやりたいことがすべてかなうわけではありません。しかし、様々なことに挑戦する権利と時間は持っているはずです。

君達の日常生活の中に携帯電話があります。確かに便利です。面白くて、退屈しません。ゲーム機能もあります。知りたいことがあったら何でも教えてくれそうです。けれども、携帯電話が生活の中心にあってはいけないと私は思っています。

私は君達に本校に入学する前から説明会などで言ってきたことがあります。それは、頭にも、心にも、身体にも汗をかいてほしいということでした。勉強に真正面から取り組んでほしい。そして、自

分はこの社会の中のどの部分で役に立つのか、自分自身で勉強をすることによって自分の役割を見つけてほしい。

人々が平和に暮らせる社会、差別のない世界はどうしたら実現できるのだろうか。書物を読み、友と語らって考えてほしい。

そして、部活動に打ち込み勝利目指して仲間と汗をかいてほしい。たとえ、その汗が敗北によって涙に変わったとしても、必死になって勝利目指して努力したその過程は、決して君達を裏切ることはないのです。必ず何かを手に行っているはずです。

携帯電話と君達の間にはドラマは生まれません。ドラマは人と人との間、君達と君達の仲間、周りの人々との間に生まれるのです。ドラマの数だけ成長があり、思い出や感動が増えていくはずです。

誰が何をするかより、誰と何をするかが大事なのです。そのことが許されるのがまさに青春時代であると思っています。

さあ、今日から1000日のドラマの始まりです。主人公は君達です。

満開の桜、碧く美しい太平洋と秀麗富士が君達の門出をお祝いしています。

素晴らしい学校生活となることを祈念いたしまして校長の「告辞」といたします。入学おめでとう。